

問1 江戸時代の元禄文化において、井原西鶴が「浮世草子」という文芸作品を次々と生み出し、それが広く社会に受け入れられた背景として、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）

1. 商業の発展と都市の繁栄により、経済力をつけた町人が文化の新たな担い手となり、実生活を題材にした娯楽が求められたから
2. 武士の間で質素儉約を尊ぶ儒学の教えが広まり、教訓的な内容を含んだ物語が幕府によって強く推奨されたから
3. 寺子屋の普及によって農民の識字率が劇的に向上し、村々の経済活動を記録する文学が農村部で流行したから
4. 海外との交易が制限される中で、貴族たちが伝統的な王朝文学の形式を復活させ、町人にもそれを模倣することを求めたから

問2 江戸幕府が将軍と大名の主従関係を明確にするために確立した、大名を1年おきに江戸と自らの領地に居住させる制度について、その目的と影響を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 大名の領地経営を助けるために江戸の先進的な技術を導入させ、地方経済の活性化を図ること
2. 大名に多額の旅費や滞在費を負担させて経済力をそぎ、幕府への反乱を防止すること
3. 大名の軍事力を江戸に集約させることで、外国船の来航に対する海岸警備を強化すること
4. 大名の世襲制を廃止し、功績のあった家臣を新たに大名として任命する機会を作ること

問3 江戸幕府が長崎に出島を完成させ、オランダ人や中国人の居住や活動をその場所に制限した主な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 岐阜公立入試 類似）

1. キリスト教の布教を阻止し、貿易の利益と海外情報を幕府が独占的に管理するため
2. 鎖国を完成させる準備として、日本国内のすべての港における外国貿易を完全に廃止するため
3. 西洋の進んだ学問や文化を日本全国へ自由かつ速やかに普及させるための拠点とするため
4. 当時深刻だった銀の海外流出を食い止めるために、一切の輸入品の受け入れを拒否するため

問4 18世紀後半にイギリスで始まった産業革命は、生産技術だけでなく社会のあり方を大きく変えました。この変革の中で、蒸気機関の改良と実用化がもたらした直接的な影響と、その後のイギリスの国際的な地位について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 山口公立入試 類似）

1. 蒸気機関によって工場での大規模な機械工業が可能になり、安価な工業製品を世界中に輸出したことで、イギリスは「世界の工場」と呼ばれるようになった。
2. 蒸気機関の発明により農業の機械化が飛躍的に進み、食料自給率が極限まで高まったことで、イギリスは「世界の食糧庫」と呼ばれるようになった。
3. 蒸気機関車が普及したことでロシアやフランスといった大陸諸国との陸路貿易が盛んになり、イギリスは「ヨーロッパの玄関口」としての地位を確立した。
4. 蒸気機関の導入により、伝統的な手作業による問屋制家内工業が各地で再評価され、地方の農村部が経済発展の中心地となった。

問5 江戸時代の外交に関する記録の中で、華やかな衣装をまとった使節団が馬に乗ったり旗を掲げたりして行進し、街道沿いで日本人々が見守っている様子が描かれた外交使節団を何と呼びますか。この使節団は、徳川幕府の将軍の代替わりなどの慶事に際して、朝鮮半島から派遣されました。（2026年 茨城公立入試 類似）

1. 朝鮮通信使
2. 遣唐使
3. 琉球使節
4. オランダ商館長

問6 江戸時代、琉球王国を支配下に置いた薩摩藩は、琉球に対して中国（明や清）との外交関係をあえて継続させ、琉球が独立した国であるかのように振る舞わせました。薩摩藩がこのような体制をとらせた理由として、最も適切なものはどれですか。（2026年 山形公立入試 類似）

1. 中国との貿易を通じて得られる中国産の生糸や薬品などの物資を、琉球経由で手に入れ利益を得るため
2. キリスト教の布教を目的とする中国の使節を、琉球で足止めして本土への上陸を防ぐため
3. 琉球を軍事拠点として整備し、将来的に中国本土へ侵攻するための足掛かりにするため
4. 幕府が定めた鎖国政策に従い、海外との一切の交流を琉球の窓口だけに限定するため

問7 江戸時代中期、杉田玄白や前野野沢らは、オランダ語で書かれた西洋の解剖書である『ターヘル・アナトミア』を翻訳し、1774年に日本初の本格的な西洋医学の翻訳書を出版しました。この書籍の名称として正しいものを選んでください。（2016年 長野県公立入試 類似）

1. 解体新書
2. 学問のすゝめ
3. 日本永代蔵
4. 慎機論

問8 江戸幕府が行った大名の配置と、その呼称に関する説明として正しいものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 徳川氏に古くから仕える大名を譜代大名と呼び、幕府の要職に就けるとともに、外様大名を監視する要所に配置した
2. 関ヶ原の戦い以降に徳川氏に臣従した大名を譜代大名と呼び、江戸に近い地域に配置して厚く優遇した
3. 徳川氏の一族からなる大名を外様大名と呼び、将軍の跡継ぎを出す役割として長崎などの貿易拠点に配置した
4. 徳川氏と血縁関係のない大名を親藩と呼び、幕府の政治から遠ざけるために九州や東北などの辺境に配置した

答え合わせ・解説

問1	答え 1 商業の発展と都市の繁栄により、経済力をつけた町人が文化の新たな担い手となり、実生活を題材にした娯楽が求められたから	江戸時代前期の元禄時代は、三都（江戸・大坂・京都）を中心に商業が著しく発達し、富を蓄えた町人が独自の文化を楽しむ余裕を持つようになりました。井原西鶴の作品は、そうした町人たちの価値観や経済活動、現実的な暮らしぶりを鮮やかに描写したため、新興の市民層から絶大な支持を得ました。この文化の流れは、貴族や武士ではなく、民間の活力が文化をリードし始めたことを象徴しています。
問2	答え 2 大名に多額の旅費や滞在費を負担させて経済力をそぎ、幕府への反乱を防止すること	参勤交代は、大名に江戸と領地を往復する費用や、江戸での豪華な生活費を負担させることで、大名が軍事資金を蓄える余裕を奪う狙いがありました。また、大名の妻子を人質として江戸に常住させることで、幕府に対する反逆を物理的・心理的に抑止する強力な支配体制の一部として機能しました。
問3	答え 1 キリスト教の布教を阻止し、貿易の利益と海外情報を幕府が独占的に管理するため	幕府は、キリスト教が民衆に広まることで統治が脅かされることを最も恐れていました。そのため、外国人を特定の場所に隔離して監視することで布教活動を封じ込める一方、貿易による利益を幕府が確保し、オランダ風説書などを通じて海外の情報を独占的に入手する体制を整えました。
問4	答え 1 蒸気機関によって工場での大規模な機械工業が可能になり、安価な工業製品を世界中に輸出したことで、イギリスは「世界の工場」と呼ばれるようになった。	18世紀後半にイギリスで始まった産業革命では、ジェームズ・ワットによる蒸気機関の改良が決定的な役割を果たしました。これにより、それまでの人力や水力に依存していた生産体制から、機械を用いた大規模な工場生産へと移行しました。イギリスは圧倒的な工業生産力を背景に、綿織物などの製品を世界市場へ供給したため、「世界の工場」としての地位を築きました。他の選択肢にある「農業中心の発展」や、島国であるイギリスが「大陸諸国と陸路で貿易」するという記述は誤りです。
問5	答え 1 朝鮮通信使	豊臣秀吉による朝鮮出兵の後、徳川家康は対馬藩の宗氏を仲介させて朝鮮との国交を回復させました。これ以降、將軍の就任祝いなどの目的で、朝鮮半島から「善隣友好」の証として使節団が派遣されるようになりました。使節団は江戸までの道中で日本の知識人と儒教を通じた文化交流を行うなど、大きな影響を与えました。
問6	答え 1 中国との貿易を通じて得られる中国産の生糸や薬品などの物資を、琉球経由で手に入れ利益を得るため	当時の江戸幕府は中国（明・清）と正式な国交を持っていませんでしたが、薩摩藩は琉球に中国への朝貢を続けさせることで、間接的に中国の物資を輸入するルートを確認しました。これにより、薩摩藩は中国産の高級な生糸や薬種などを入手して国内で転売し、莫大な利益を得て藩の財政を潤しました。このような背景から、薩摩藩の支配は「琉球の独立性を一定程度保たせる」という複雑な形式をとりました。
問7	答え 1 解体新書	杉田玄白らが翻訳・出版した『解体新書』は、それまでの漢方医学とは異なり、人体解剖図に基づいた客観的な医学知識を日本に紹介しました。この翻訳作業を通じて、未知の言葉を一つひとつ解明していく過程が、のちの「蘭学（オランダ学）」の発展に大きく貢献しました。
問8	答え 1 徳川氏に古くから仕える大名を譜代大名と呼び、幕府の要職に就けるとともに、外様大名を監視する要所に配置した	江戸幕府は、親藩（徳川氏の親戚）、譜代（古くからの家臣）、外様（戦後に臣従）の3種類に大名を分け、その性格に応じて配置を決めました。譜代大名は幕府の政治を担うとともに、軍事上の要衝や、有力な外様大名の領地を分断・監視するような位置に配置されることで、幕府の支配権を安定させる役割を担っていました。